

第8回看護管理者研修

看護管理者に必要な「人間性」の理解と人材育成 —看護管理者としての姿勢—

今年度、看護局では看護管理者のマネジメント能力の向上を
図ることを目的に毎月、「管理者研修会」を行っています。

11月18日(日曜日)、1日かけ県立中央病院・北病院・あけぼの医療福祉
センター合同で行いました。

また、飯野副院長と一緒にH28年度にサードレベルを
終了した認定看護管理者10名のみなさんも
県外から参加され、参加者は48名となりました！！

目的:

HANA 研究会が抽出した、ハイパフォーマーな看護管理者に求められる
行動特性の土台となる「人間性」を理解し、人間性豊かな看護師の
育成につなげる

講師:

HANA 研究会

中村くに子 先生

根本康子 先生



<人間性の定義>

常に品格を保ち、組織の目標達成に向けて個人やチームの力を引き出せる人間的な魅力

事例のグループワーク

<テーマ>

- ①看護管理の行動評価(人間性の視点)と育成上の課題
- ②人を育成する上での自己課題に対する行動



「人間性」における看護管理者評価表{ 1. 情動性 2. 責任 3. 品性 4. 管理者としての姿勢 5. 人柄 6. センス}を活用し、事例から看護管理者としての様々な課題が出されました。

- 内省力をつけ自己変革したい
- 一人ひとりと丁寧に関わる
- 多様性を受け入れていく etc...

HANA 研究会が打ち出した「人間性」の 24 のスキルを身につけ、明日から実行していきたい！
多施設の看護管理者が意見交換を行うことで、互いに元気をもらい充実した研修会となりました。

